

外来受診のご案内

平成27年7月21日現在

最新の外来診療体制は当院ウェブサイトに掲載しています。
 URL <http://www.koto-ghp.jp/>

外来診療科	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	○	○	○	○	
	午後					午後の定期診療は一時中止しています
消化器内科	午前	○	○	○	○	
	午後				■	■金曜日（奇数週のみ）午後：内視鏡予約検査
循環器内科	午前	○	■	○	○	■第2・第4火曜日は休診です
小児科	午前	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	町の健診終了時間により午後の診察時間が変わります
整形外科	午前	○	○	○	○	
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	
脳神経外科	午前				○	
婦人科	午前				○	
泌尿器科	午前	○	○	○	○	
人工透析	午前	○			○	
	午後	○			○	
耳鼻咽喉科	午前				○	火曜日の受付時間： 7:00～14:00 まで
	午後		○		○	木曜日の受付時間： 7:00～14:30 まで
眼科	午前	○	○	○	■	■木曜日：予約検査のみ
皮膚科	午前	○				月曜日：完全予約制です（直接ご来院下さい）
精神科	午前		○			受付時間： 7:00～15:00 まで

平成26年度 利用状況	消化器内科	109	眼科	84	紹介機関		紹介患者数		内CT		内MRI	
	循環器内科	236	脳神経外科	59	診療所	497	58	2				
	小児科	28	内科	533	病院	422						
	整形外科	261	皮膚科	39	老健施設	64						
	リハビリテーション科	2	泌尿器科	152	特養老人ホーム	3						
	婦人科	6	精神科	28	厚生連病院	578						
	耳鼻咽喉科	28	合計	1,565	グループホーム	1						
					合計	1,565						

連絡先 湖東厚生病院 地域医療連携室

代表電話 018 (875) 2100
 直通FAX 018 (875) 5421
 業務時間 平日 8:30～17:00
 住所 南秋田郡八郎潟町川崎字員保9番1

湖東厚生病院 018-875-2100 (代) Fax 018-875-5269



Bells in Koto since 2011

湖東厚生病院 地域医療連携室だより

ことうの鐘

Vol.6



新病院開院から、季節が一巡しあつという間の一年でしたが、地域の皆さまのあたたかいご支援に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年5月の西病棟の始動から、10月にはスタッフを充実して東病棟を開床し、限られた入院期間の中で、患者さんご家族が安心して療養できる環境を整えと共に、退院に向けた支援体制にも力をいれて取り組んできました。また、8月からは地域包括ケア病床の機能を持ち、11月から地域包括ケア病棟としてリハビリを含めた在宅復帰へのお手伝いができるようになったことで、急性期と在宅をつなぐ当院の役割機能がより明確になり、その役割を担う看護の重要性を再認識しているところで、中でも急性期を脱した後の「より日常に近い環境調整」による回復支援や、摂食嚥下の機能訓練に力を注ぎました。胃瘻造設や胃管チューブでの栄養やむなし

の患者さんが経口栄養可能となったり、ケア介入で表情が出てくることは私たちの喜びにもつながっています。

2年目に入った今、地域の皆様にも病院の機能を理解していただき、連携する多職種の皆様からのご意見・ご協力を頂きながら、少しずつ前進できているのではないかと実感しております。

また、当院には、退院支援専任看護師のほか、ケアのエキスパートである認知症看護認定看護師、糖尿病療養指導士等の資格を持った看護師がおり、看護の質向上のための実践及び職員教育に取り組んでおります。今後とも、地域の皆様の期待に応えられるよう高齢者に優しい病院のキャッチフレーズに恥じない『いたわりの心で、やさしい手を添える、真心こめた看護の実践』に努めてまいりますので、今後ともお力添え賜りますようよろしくお願い申し上げます。

看護部長 佐々木 由美子



鈴木 光哉 すずき みつや

平成27年6月より当院に赴任

この6月1日より、当院内科に勤務することとなりました、鈴木光哉と申します。

大学を卒業後、長崎県五島列島→三重・和歌山県境→兵庫県北部地域と、いわゆるへき地を中心に回ってきました。このたび、当院のような訪問診療も広くやられているタイプの病院は初めてですが、秋田県の医師不足がかなり深刻だとお聞きしたため、勤務させていただくこととなりました。診療分野的には、ここ6年間、内科系総合診療を中心にやってまいりました。総合診療というと、なかなかイメージが湧きにくい印象はありますが、これまでの●●内科が、『まず病名をつけて、それから治療する科』とすれば、総合診療科は、『明確な病名がつかなくても、病

態を生理学的に分析して治療する科』だと思います。治療法を、『身に着け、こなす』ことも大事ですが、『考え、編み出す』ことの方がもっと大事です。今、この総合診療科にも、従来と同じ大学入試の延長のような試験をもとに、画一的な専門医資格が作られようとしています。それではまた、●●内科がひとつ増えるだけで、あまり意味がないと心配しております……。

当院は、『秋田県で一番、高齢者にやさしい病院』を目指しております。でも、それは、もう、そう遠くない将来、高齢者が多数を占める国になる日本の現実を考えれば、まさに、『県民国民が、自身を信任できる病院を目指す』のと同じことだと思います。上記のような総合診療的思考は、医療分野にとどまらず、様々な分野で必要とされるものだと考えますので、湖東厚生病院が大きく広く情報発信できる病院になって欲しいと願っております。今後とも、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。



地域医療連携室

ご利用の流れ



- ①紹介元医療機関様より「紹介患者様用診療申込書」を地域医療連携室へFAX送信していただきます。
(※お急ぎの場合は直接お電話いただいております)
- ②地域医療連携室で各科外来と受診日調整を行い、紹介元医療機関様にFAXにて受診日等をお知らせいたします。
- ③紹介元医療機関様より患者様へ「診療情報提供書」を渡していただき、受診日等のご説明をお願いします。
- ④紹介患者様の受付は、当院「紹介患者様窓口(正面受付)」にて外来事務職員が対応させていただきます。
- ⑤受診後、地域医療連携室より速やかに紹介元医療機関様へ「受診報告書」をFAXさせていただきます。

連携室担当紹介



連携室担当の土田と申します。当院との連携につきましては、日頃からご協力をいただき誠にありがとうございます。当院と医療機関さまの窓口としてスムーズな連携を心がけ、皆様のご期待に応えられるよう頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



認知症ケアについて

認知症看護認定看護師 看護副師長
おほら たつき
大原 樹



認知症看護認定看護師の大原 樹です。認定看護師(CN:Certified Nurse)とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者を指します。私自身は認知症分野における以下の3つの活動を行っています。

- 1.実践: 個人・家族・集団に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践
- 2.指導: 看護職に対し看護実践を通して指導
- 3.相談: 看護職に対するコンサルテーション

ご存じのとおり、認知症は2014年の統計では462万人、2025年には約700万人となる見込みであり、65歳以上の高齢者の5人に1人(2012年7人に1人)となると推計されました。これは東北6県すべてを合わせた人口に匹敵します。政府も先程認知症の人や家族に優しい地域づくりを柱とし、認知症の予防や診断、治療の体制整備などを盛り込んだ新オレンジプランを発表したばかりですが、認知症は従来痴呆やボケ老人と呼ばれていた経緯もあり、認知症の早期診断や治療、地域の受け入れ態勢の阻害要因になっていると考えられます。

このような中、認知症看護認定看護師として一般病院の認知症ケアの質の向上を図る為

に病院内のスタッフに対する認知症の知識、対応、コミュニケーション技術の研修会を開催しています。また入院あるいは外来患者家族が認知症で困っている場合の対応などへのアドバイスを、認知症困難事例相談業務として承っています。最近物忘れが多くなった、認知症が心配な年齢になってきた、認知症の可能性があるのか、あるいは単なる物忘れなのかの判断に困った場合などに関しても気軽に相談できますのでお近くの看護スタッフに声をかけて下されば対応いたします。

認知症看護認定看護師として、湖東厚生病院のスタッフが地域の高齢者そして認知症患者に対して適切な質の高いケアが提供できるように支援していきたいと考えています。